



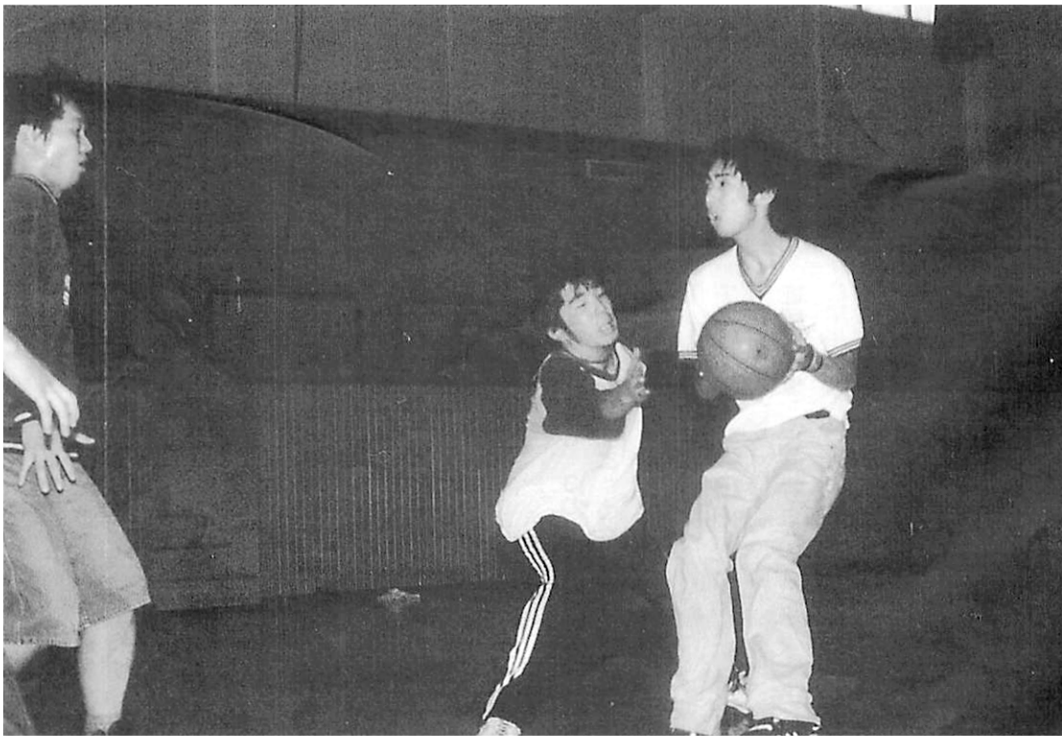
UP-LE

Vol.32

1998年3月10日

学校法人コア学園
 飯田コンピュータ専門学校
 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
 ☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

優勝めざして



二月二十日・二十一日に学園祭（遊楽祭）が行われました。一日目にスポーツ大会。みんな優勝目指して頑張りました。二日目は卒業研究の一般公開。二年間の学習の成果が様々な形で発表されました。

南向きの大きな窓

感

動

学校長 植原 英勝

「アリガトウ、ナガノ」と、I O C サマランチ会長の最後の言葉と共に、幕を閉じた長野五輪。「オリピックなんてどこの国の話」とか、「恩恵があるのは北信だけ」と、無関心を装っていた人達も、連日テレビに釘づけになった二週間。先ず、森山良子の歌う「明日こそ、子供たちは」と共にステージ狭しと踊る子供達の登場。中には目や耳の不自由な子供も。一生懸命に踊る姿に目頭が熱くなる。続いて、スピードスケートの清水選手、モーグルは里谷選手の金メダル。いずれも早逝した父親に誓ったメダルで、同じような境遇がドラマティックだ。そしてジャンプの船木、ショートトラックの西谷選手。圧巻はやはりジャンプ団体。一本失敗の重圧の中、最長不倒をマークした原田選手。完璧な飛形、最高得点の船木選手。「みんな最高、みんな頑張った。俺ひとりじゃないよ、皆で助けあったんだ」と、自分との戦いに勝利した喜びがにじみ出るにコメント。それらの言葉の一つひとつ、その表情の全てに、多くの人々が感動で胸を熱くした。

地元の獅子舞や手作り花火の閉会式の盛り上がりも記憶に新しい。「メディアに潮れ、演出に凝ったオリピック」との批判も無くはないが、「地球こそふるさと」と、感動を共有した人々と共に、改めて素晴らしい素直に受けとめたい。

ところで、「感動」といえば去る2月中旬、H銀行の30周年記念事業として行われた「今、伊那谷の技術者は語る」というシンポジウムのこと。

この地方を代表する精密、電子機器、食品製造など各社の研究開発部門で活躍する技術者五名がパネラーとなって、仕事に傾ける情熱や伊那谷の将来への夢など、それぞれの思いを語る催しであった。

そもそも仕掛人は、当日コオーディネーターを務められたT社のH社長で、「伊那谷の様々な技術や情報、そして人々がネットワークされるのが大切」と、目頭から熱心に活動されている方。予定時間をはるかに上回る熱気あふれる研究会であった。

ここで驚きをもって認識したのは、この谷の中に、これほど素晴らしい技術を持って、また開発の実績を有して活躍する優秀な技術者が沢山おられること。その第一線の技術者達が、それぞれの業務は元より、この地方の将来にも熱い思いを持って前向きに取り組んでおられる姿である。

こんな話を是非学生に、そして高校生や中学・小学生にも聞かせてやりたい。きっと心を動かされて、将来、技術者を指す子供達も出てくるに違いないと、そんな思いを持ってやはり釘づけとなったシンポジウムだった。

スポーツであれ、仕事であれ、人々の心に感動や感激を与えることが出来たら、それは素晴らしい。一生懸命生きている証拠である。

卒研校内発表



卒業研究

みんなすばらしいものに
仕上がっていました。

使われるHTML言語で作成したゲーム。

熊谷 隆司 池沼 康隆
市瀬 洋平 竹村 貴宏
中島 誠司

卒業生の就職先

新瀨運輸(株)
桂建築設計事務所

(株)キンポータルテック

中日本ハイウェイパトロール(株)

中部コア

(株)伸光製作所

ミナミ通信工業(株)

吉川建設(株)

日幸電気(株)

(有)緑調査設計

長野原機器(株)

龍共印刷(株)

(株)八十二銀行

多摩川精機(株)

J Aみなみ信州

(株)マスタ

(株)山岸

昭和電設工事(株)

長野トヨタ自動車(株)

プロに向かっていった学生を思い出す。卒業研究の完成が遅れ、卒論の作成が間に合わなかったのである。決してそのことが良かったといっているのではない。

「内容が高度」「厳しすぎる」という意見も数多く出された。また、付合わされて夜遅く帰路に付くこともしばしば。

それは、未熟ながらに未知のものに対する追求の気持ちが強かったからではないかと察する。未知のものは家の中において外を眺めるようなもので、全体は理解できない。明確にするには窓に近付いて広い視野で観察し、知識・経験等を活かして推測する。細かな部分の理解には窓を開け、自分が対象に近付かなければならない。

知識・経験は学習であり、窓を開けるとは追求である。何でも要求すれば手に入る現在、知識までもがインターネットなどにより簡単に手に入る。それは素晴らしいことだが、それを確認したりそこからさらに深めようとするだろうか？

知識の飛び石では完全な理解はできない。労せずして身に付かずである。

最後に学生とのやり取りのこま「答えは正しい。なぜそうなるのか?」「しらん。本見たらそう書いてあった。いいじゃん答えが合ってるんだから」

校内発表

二年 男子

二年生の卒業研究校内発表会が一月二十九日、実習室Aにて開会されました。今までそれぞれのテーマに沿って研究・制作した作品を発表しました。

各チームこれまで培ってきた知識・技術を元に、個性あふれる研究作品が多く見られました。表計算やデータベース等のビジネス系の発表から始まり、画像処理、プロモーションビデオ

といったマルチメディア系の発表で終わりました。

私達の場合は、VBを使って検定対策問題集を作りました。

個人的には、制作課程を見る機会があった画像処理の研究が一番印象に残りました。ムービーを作るのに随分時間がかかるので、いろいろと工夫していた様です。

一年生に対して各チーム自分たちが制作した作品を生きた表計算やデータベース等のビジネス系の発表から始まり、画像処理、プロモーションビデオ

1 簿記会計システムの開発

Windows用データベースアプリケーションAccessを開発した、本校の経理事務効率化のための会計システム。伝票処理や元帳、貸借対照表の作成機能がある。

亀井 英子 田中 美妃
岡沼 利枝

2 給与計算システムの開発

Accessで開発した給与計算システム。給与計算の状況やデータをわかりやすく表示する工夫をしてある。

年末・賞与処理などができる。
野牧 光雄 近藤 崇
宮嶋 亮介

3 車情報データベースの開発

Accessによるデータベース。車の能力の説明、会社別・車名別・能力別に検索ができるようにしてある。

竹村 秀幸 熊谷 尚樹
中平 満 桃沢 豪

4 創作小説の作成

(ホームページ形式)
「南信州コア学院殺人事件」と題して、インターネットで

5 検定試験対策CAIの開発

Visual Basic言語でプログラムした検定試験対策用の問題集である。ムービー等を利用して、ゲーム感覚で楽しめるようにしてある。

椎名 善之 平沢 光洋
三浦 善文 柴田 安雄

6 3Dアニメーションの作成

Mac OSで利用する3D画像作成ツールによる作品づくり。様々な光のそれらしい表現と関節の動きを計算するインバースキネマティクスを使った足の動きを作成した。

宮澤 文崇 佐々木克仁

7 プロモーションビデオの作成

ビデオ編集ソフトを使い、コンサートなどのビデオに様々な効果や自分で作成したアニメーションなどを合成して新しいムービーを作成。

熊谷 章吾 鈴木 清史

寄稿

追い求める気持ち

一 常勤講師

情報処理コース、電子情報工学科というような「イカメシイ」名前のクラスがあった頃、卒業式間近ともなると夜遅くまでワー

プロに向かっていった学生を思い出す。卒業研究の完成が遅れ、卒論の作成が間に合わなかったのである。決してそのことが良かったといっているのではない。

「内容が高度」「厳しすぎる」という意見も数多く出された。また、付合わされて夜遅く帰路に付くこともしばしば。

それは、未熟ながらに未知のものに対する追求の気持ちが強かったからではないかと察する。未知のものは家の中において外を眺めるようなもので、全体は理解できない。明確にするには窓に近付いて広い視野で観察し、知識・経験等を活かして推測する。細かな部分の理解には窓を開け、自分が対象に近付かなければならない。

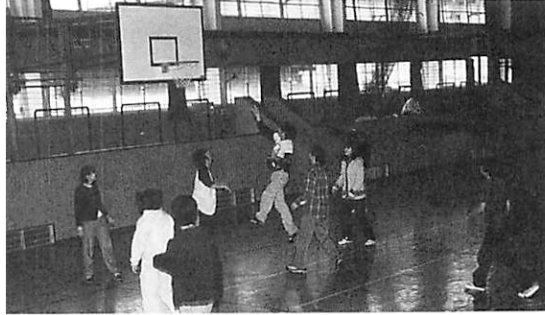
知識・経験は学習であり、窓を開けるとは追求である。何でも要求すれば手に入る現在、知識までもがインターネットなどにより簡単に手に入る。それは素晴らしいことだが、それを確認したりそこからさらに深めようとするだろうか？

知識の飛び石では完全な理解はできない。労せずして身に付かずである。

最後に学生とのやり取りのこま「答えは正しい。なぜそうなるのか?」「しらん。本見たらそう書いてあった。いいじゃん答えが合ってるんだから」

学園祭

スポーツ大会



バスケットボール大会

田中 一樹

二月二十日に文化祭の行事として、バスケットボール大会が行われました。当日は雨が降っていて来れなかった人がいたので残念でした。一・二年生全体でチームを四つ作り試合を行いました。僕たちのチームは七人

スポーツ大会を終えて

P.N カックラキン大放送

二月二十日にスポーツ大会があり、バスケットボールをした。集合時間を大幅に遅れ、しかもチーム分けにも多大な時間を費やしてしまっ。一、二年合同で四チームが参加した。何故か私は、F君とI君のチームに加わることになった。

いよいよ試合開始。第一試合は、二年生のチームと当たった。普段はおとなしいN先輩の素早い動きに驚いた。やはり男女混

この試合も相手は二年生のチームでしたが、僕たちのチームもようやく調子が上がってきて勝つことが出来ました。普段は車での通学なので、久しぶりのバスケットはさすがに疲れて次の日は筋肉痛になってしまいました。でも、いい運動になったし、三位になって賞金をもらえることができたのでとてもいい行事だったと思います。

合ゲームだけあって、周りの動きの早さに対応できず、何もできない状態だった。しかし、F君とI君のおかげで、何とか決勝進出！決勝戦では、何とか活躍しよう頑張った。けれども、何も出来ず、負けてしまった。とても悔しかった。

久しぶりに体を動かしたため、少々筋肉痛になったけれど、とても楽しい一時だった。

卒業研究一般公開

文化祭を終えて

井上 誠

文化祭ということで、僕ほとても楽しみにしていました。中学、高校の時みたいに、とてもにぎやかな雰囲気想像しました。しかし実際のところは、これが本当に文化祭なのか？と疑うくらい静かに行われました。

僕が最初に驚いたのが、お客の数です。午前中から正午までに、たったの四人です。先生の話によると生徒の親の方が見えてくれれば良いと言っていました。しかし、お客が四人というのはとても恥ずかしく思いました。それだけこの学校は人気がないのかと少々がっかりしてしまいました。本当にこれだけのかと、僕は先生に聞きたい。

文化祭というのは、一年間やってきた事を発表する場だと思う。しかしいくら発表者がいても、それを聞いてくれる人がいない。もったこの学校を、アピールするべきだと思います。その辺を考えたと思っています。

卒業研究一般公開

2年

元文化祭実行委員長

一月二十九日に卒業研究を一

般の方々に公開しました。

当日は、雨が降っており一般の方々の出入りは前年度に比べてかなり少ないものとなりました。一般の人のほとんどが身内のかたで、地元企業やコンピュータに興味がある方は、ほとんどきてもらえず、とても残念でした。暇だったので、下の教室で人を集め投影式テレビを使用したゲーム大会を開いていたところ、受付係から自分の親が来たという事を知らされ、説明しに面倒くさがりながらも上の階にあがりました。

といっても、説明できるのはマルチメディアコースの卒業研究のみだったので説明はほんの数分で終わってしまいました。これでいいんだろうか？そう思ってしまうような文化祭でした。

来年度の文化祭に期待します。



平成10年度 自治会新役員

紹介

- ・自治会長 飯島 夏樹
- ・副会長 菜花 泉
- ・会計・書記 田中 優理
- ・会計監査 原 恵利子
- ・文化祭・体育祭実行委員長 熊谷 顕二
- ・広報出版委員長 古川 裕紀
- ・図書・厚生委員長 高木 恵美
- ・アルバム委員長 橋爪 亜由未

各種合格者

ビジネス能力検定(B検)

3級

- 飯島 夏樹
- 桐山 貴志
- 田中 優理
- 長谷部 直美
- 本島 佳和
- 宮嶋 亮介

4級

- 田中 一樹
- 田中 久美子
- 田中 優理
- 山本 麻記
- 原 恵利子

情報処理活用能力検定(J検)

3級

- 近藤 崇
- 宮嶋 亮介
- 井上 誠
- 代田 聡
- 高木 恵美
- 増沢 健二

簿記検定

3級

- 中島 誠司

4級

- 菅沼 慎一
- 田中 一樹
- 原 恵利子
- 藤森 大士
- 本島 佳和

ワープロ検定

3級

- 高木 恵美

スケジュール

- 3/21 春分の日
- 3/23 成績発表
- 3/24~ 春休み
- 3/28 一般入試
- 4/9 入学式
- 4/10 始業式、オリエンテーション、健康診断
- 4/13 授業開始
- 4/19 情報処理技術者試験
- 4/29 みどりの日
- 5/3 憲法記念日
- 5/5 子供の日
- 5月第3土曜日頃 ワープロ検定2級(3、4級は随時)
- 6/7 ビジネス能力検定
- 6月第2日曜日頃 簿記検定1~4級
- 6/21 情報処理活用能力検定3、4級
- 6/28 CG検定3、4級
- 画像処理検定3、4級
- マルチメディア検定3、4級
- 秘書技能検定1~3級
- 7月第2土曜日頃 ワープロ検定3、4級
- 7/20 海の日

編集後記

私が委員長になって初めてのUP-LEとなります。これに取りかかるのが遅く、日数的に厳しい状況でした。原稿依頼も遅く、締め切りまでの時間がない状況にまでなっていました。こんな状況で原稿を書いてくださった方、本当にありがとうございます。こんな委員長で先が思いやられると

自分自身で思っていました。次回はもっと早くに取りかかり、特に周りの人たちに迷惑をかけないようにしたい。遅くなっていました。遅くなりましたが、二年生の皆さん卒業おめでとうございませ

